



大塚だより

大田区立調布大塚小学校

校長 玉野 麻衣



「予習-授業-復習」サイクルで学習観を育てる

校長 玉野 麻衣

認知カウンセリング(市川,1991)からみた学習上のつまずきには、「覚えられない、すぐ忘れる」「時間をかけて勉強しているが成果がみられない」「授業では分かったと思う。でも分からなくなる」「授業は難しくついていけない」「何が分からないのかも分からない」などがあります。そして、なぜつまずくのか、その理由として、「知識(技能)の問題」「学習方略(勉強方法)の問題」「学習観(勉強に対する考え方)の問題」の3点があるといわれています。本校では、この「学習方略」を選択できたり、よりよい「学習観」を身に付けたりできるような学習サイクルとして「予習-授業-復習」サイクルによる授業に取り組んでいます。これは、自立した学習者を育てるためのサイクルでもあります。

学習観には、次のような志向があります。

意味理解志向	(丸暗記ではなく)学習内容の意味を考えたり、解き方や考え方を確かめたりしながら学習を進める考え方
思考過程重視志向	(結果だけではなく)途中のやり方や考え方が大切であるという考え方
方略志向	(量をこなせばよいのではなく)勉強のやり方や自分に合った勉強方法を工夫することを重視する考え方
失敗活用志向	間違えることで理解不足に気づきよりよく分かるようになるという考え方

これらの学習観となるためには、「丸暗記すればよい」「量をこなすことが大切」「分からないところがあるのはいけない」などと思わせるような課題は出さない、と考えて予習や復習の内容を考えることが大切です。「予習-授業-復習」サイクルの予習では、分からないところをはっきりさせて授業に臨むこと、授業では、ポイントを絞って授業を受け、分かったかどうか表現して確認すること、そして、復習では、ポイントを言語化して理解した状態で演習問題に取り組み間違えた理由を自分なりに分析すること、に取り組めることを目指しています。このようなサイクルを自分で回せるようになると、いくつになっても自立して学習を進めることができます。

6月の生活目標

「ていねいな言葉づかいをしよう」

○本校は、今年度「すすんであいさつ、心をこめたあいさつ」が身に付くよう、重点目標にしています。丁寧な言葉遣いも、心をこめたあいさつにつながります。思いやりのある言葉は笑顔へとつながります。

6月の保健目標

「歯を大切にしましょう」

○歯科検診の結果のお知らせが届いたら、医療機関を受診、または定期的に家庭や主治医と相談しながら経過をみましょう。
○歯1本1本を意識しながら磨きましょう。

○今月は、ふれあい月間です。自分のことや友達のこと、不安や心配していることがあるときには、すぐに大人に話すよう伝えます。

○今年度より登校時刻を8時15分～8時20分までに変更しました。8時20分まで教室に入れるように登校します。

転入者・新任者 のご挨拶

主幹教諭 4年1組担任

4月、こどもたちの素直で前向きな姿に、緊張が吹き飛が思いでした。生活指導主任を務めます。他者の存在を大切しながら、こどもたち自身が、自らの力でよりよい生活を築けるよう働きかけていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



学校栄養士

学校給食を通して、こどもたちと関わることに喜びを感じています。毎日の給食を楽しみに待っているこどもたちのために、「安全・安心・楽しい・美味しい給食」の提供に務めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

副校長アシスタント

学校関係のお仕事をするのが初めてのため、毎日がわくわくとドキドキの繰り返しです。教員室の扉を開けたところにいますので、何かありましたら(用事がなくても！)、お気軽にお声がけください。みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

教諭 図工専科

図工を通してこどもたちとかわることが多い中、どの学年も作品をつくりあげようとする意欲が溢れていて、何事にも一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。こどもたちの表現したいものが表現できるように務めていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

教諭 5年2組担任

赴任して以来、様々な学年・学級の児童が話しかけてくれました。明るく、優しく、がんばり屋のこどもたちと毎日を過ごせることを嬉しく思っています。こどもたちの成長を願い、精一杯努めます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

サポートルームより サポートルーム担当

特別支援教室サポートルーム（以下「サポートルーム」という）は、一人一人の得意なところを伸ばし、在籍学級で困っているところや、苦手なところを自分に合った学び方で分かる（できる）ようにしていく学びの場所です。通常の学級に通いながら週1～2時間程度の指導を行います。

こんな悩みがあるお子さんはいませんか？

- ☆友達とのコミュニケーションがうまくいかない。
- ☆こだわりが強く、新しいことに取り組むことが苦手である。
- ☆集団行動が苦手な友達とうまく関われない。
- ☆落ち着きがなく、衝動的に動いてしまう。
- ☆他と比較して、ある学習だけ（読み・書き等）が著しく苦手である。

サポートルームでは、このようなお子さんを個別や小集団で支援しています。お子さんの様子で心配なことがありましたら、まずは学級担任やスクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

勤務日

- ・サポートルーム巡回教員
毎週月曜・水曜
 - ・スクールカウンセラー
毎週金曜
- ※ 変更する場合もあります。行事予定でご確認ください。

「ほっとルーム」を開設しました

「静かなところからオンライン授業を受けたい」「静かなところで学習を進めたい」「気持ちを切り替えてから教室に戻りたい」など、「ちょっと教室に入りづらい」と思った時の、こどもたちの居場所です。

学習することや滞在時間を自分で決めて、「ほっとルーム」で過ごします。こどもたちが安心できる居場所の一つになればと思います。